

HAB北陸朝日放送がICT人材育成事業を始動 「ミライツクル」プロジェクト

デジタル技術を活用し社会課題に取り組む若手ICT人材を育成
北陸発の実践型プロジェクトが始まっています



北陸朝日放送株式会社(本社:石川県金沢市、代表取締役社長:能田剛志、以下HAB)は、このたび経済産業省が推進する令和6年度「地域スタートアップ・エコシステム形成促進事業(通称:AKATSUKIプロジェクト)」において、「ミライツクル～デジタル技術を活用した北陸地域のミライ社会実現プロジェクト～」を提案し、採択されました。

【AKATSUKIプロジェクト】

AKATSUKIプロジェクトは、全国各地の補助事業者が人材発掘・育成プログラムを様々なエリアで展開し、IT分野を中心に優れたアイデアや技術を持つ地方の若い人材を発掘・育成するためのプロジェクトです。

本プロジェクトは、経済産業省より、令和6年度「未踏的な地方の若手人材発掘育成支援事業費補助金」に係る交付決定を受けたTOPPAN株式会社が事務局として実施しています。

・令和6年度事業公式HP <https://mitouteki.jp/r6/>

【「ミライツクル」プロジェクト】

“デジタル技術を活用した北陸地域のミライ社会実現”を目指す、北陸発の実践型プロジェクト。＜先端技術＞＜社会課題＞＜震災復興＞の3つのテーマで、石川県内でフィールドワークや検証などに取り組めます。IT技術と社会課題に秀でたエキスパートがサポートし、約6カ月かけて課題解決に向けた事業創出・プロダクト開発を行います。

なお、各プロジェクトマネージャーは、石川工業高等専門学校電子情報工学科 越野亮教授、金城大学総合経済学部 平子紘平准教授、株式会社Asian Bridge 小西広恭代表取締役社長が務め、各界の第一人者がメンターとして伴走します。

2025年7月の参加者説明会から2026年2月の成果報告会に至るまで、参加者の活動を継続的に支援し、地域の次代を担う人材と事業の創出をあと押し、本事業を通じ、能登半島地震からの復興にも寄与すべく、ICTを活用した地域課題解決にも取り組んでまいります。